

宗教学

授業科目名	授業題目	単位	担当教員氏名	開講 セメスター	曜日 講時
宗教学特論Ⅰ	災害と宗教	2	木村 敏明	2	金曜3限
宗教学特論Ⅱ	宗教社会学	2	問芝 志保	1	火曜3限
宗教学死生学総合演習Ⅰ	宗教学死生学研究法	2	木村 敏明	1	火曜5限
宗教学死生学総合演習Ⅱ	宗教学死生学研究法	2	木村 敏明	2	火曜5限
宗教学死生学研究演習Ⅰ	宗教学死生学文献読解	2	木村 敏明	1	金曜2限
宗教学死生学研究演習Ⅱ	宗教学死生学文献読解	2	木村 敏明	2	金曜2限
宗教学研究実習Ⅰ	宗教学調査法	2	木村 敏明	1	月曜4限 月曜5限
宗教学研究実習Ⅱ	宗教学調査法	2	木村 敏明	2	月曜4限 月曜5限

科目名：宗教学特論Ⅰ

曜日・講時：金曜 3 限

セメスター：2 **単位数：**2.00 単位

担当教員：木村 敏明

コード：LM25303, **科目ナンバリング：**LGH-RES601J, **使用言語：**日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：災害と宗教

2・授業の目的と概要：突然にやってきて人々の日常生活の基盤を突き崩してしまう自然災害。被災者たちや周囲の人々が災害を受け止め、生活を立て直す中で、宗教はいかなる役割を果たしてきたのか。この授業では自然災害をめぐる宗教的観念、宗教的儀礼、復興と宗教といったトピックについて、教員による講義と論文をもとにした議論によって問題の理解を深める

3. 学習の到達目標：宗教学的なものの見方を身につけることができる。
現代社会における宗教の意義や課題について具体的な事例を通して理解できる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

1. イントロダクション ①何故災害と宗教か
2. イントロダクション ②発表準備
3. 災害観と宗教（講義）
4. 災害観と宗教（論文講読と議論）
5. 災害観と宗教（論文講読と議論）
6. 災害と儀礼（講義）
7. 災害と儀礼（論文講読と議論）
8. 災害と儀礼（論文講読と議論）
9. 宗教と復興（講義）
10. 宗教と復興（論文講読と議論）
11. 宗教と復興（論文講読と議論）
12. 宗教と死者（講義）
13. 宗教と死者（論文講読と議論）
14. 宗教と死者（論文講読と議論）
15. まとめ

5. 成績評価方法：授業における発表と、授業後提出のコメントで評価をする。

6. 教科書および参考書：教科書は用いない。参考書は授業中に指示する。

7. 授業時間外学習：使用文献の精読および発表の準備

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：宗教学特論Ⅱ

曜日・講時：火曜3限

セメスター：1 **単位数：**2.00 単位

担当教員：間芝 志保

コード：LM12306, **科目ナンバリング：**LGH-RES602J, **使用言語：**日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：宗教社会学

2・授業の目的と概要：「宗教と氏名（姓名）」をテーマとし、関連する書籍、論文を講読する。歴史的変容、現代の意識、宗教や占いと関連について学び、ディスカッションする予定。

3. 学習の到達目標：「宗教と社会」という問題をとらえるための視座を養う。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

- ・各回1名の受講者が報告を担当する。報告者は課題論文を熟読し、要約したレジュメを作成し、報告を行う。
- ・誰がいつ何を報告するかは初回授業の際に決定する。報告者になることを希望する者は初回授業に出席すること（どうしても出席できない場合は応相談）。

- ・報告者にならなかった者の成績評価は期末レポートの提出によって行う。

- (1) イントロダクション
- (2) 概説①
- (3) 概説②
- (4) 日本における氏名の歴史①
- (5) 日本における氏名の歴史②
- (6) 日本における氏名の歴史③
- (7) 日本における氏名の歴史④
- (8) 宗教と氏名①
- (9) 宗教と氏名②
- (10) 宗教と氏名③
- (11) 姓名判断とは何か①
- (12) 姓名判断とは何か②
- (13) 現代における名前の意義①
- (14) 現代における名前の意義②
- (15) まとめ

5. 成績評価方法：レジュメによる報告 もしくは 期末レポートの提出による。

6. 教科書および参考書：教科書は特に指定しない。参考書は授業中に指示する。

7. 授業時間外学習：課題論文を熟読し、わからない事項は事典等で調べておく。
授業内で提示された参考書に目を通し、理解を深める。

8. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

9. その他：

科目名：宗教学死生学総合演習Ⅰ

曜日・講時：火曜 5 限

セメスター：1 単位数：2.00 単位

担当教員：木村 敏明、高橋 原、谷山 洋三、間芝 志保

コード：LM12507, 科目ナンバリング：LGH-RES604J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：宗教学死生学研究法

2・授業の目的と概要：この授業は、大学院在籍学生による研究発表と討論を通して、宗教学や死生学に関する高度な知識や方法を身につけることを目的とする。

3. 学習の到達目標：自他の研究内容について、学術的に発表および討論を行うことができる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

毎回の授業において 1 名ないし 2 名の大学院生が発表をおこない、その内容について全体で討論をおこなう。

5. 成績評価方法：授業および発表への参加。

6. 教科書および参考書：特になし。

7. 授業時間外学習：自らの研究を発表としてまとめること。

8. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

9. その他：

科目名：宗教学死生学総合演習Ⅱ

曜日・講時：火曜 5 限

セメスター：2 単位数：2.00 単位

担当教員：木村 敏明、高橋 原、谷山 洋三、間芝 志保

コード：LM22506, 科目ナンバリング：LGH-RES605J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：宗教学死生学研究法

2・授業の目的と概要：この授業は、大学院在籍学生による研究発表と討論を通して、宗教学や死生学に関する高度な知識や方法を身につけることを目的とする。

3. 学習の到達目標：自他の研究内容について、学術的に発表および討論を行うことができる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

毎回の授業において 1 名ないし 2 名の大学院生が発表をおこない、その内容について全体で討論をおこなう。

5. 成績評価方法：授業および発表への参加。

6. 教科書および参考書：特になし。

7. 授業時間外学習：自らの研究を発表としてまとめること。

8. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

9. その他：

科目名：宗教学死生学研究演習Ⅰ

曜日・講時：金曜 2 限

セメスター：1 **単位数：**2.00 単位

担当教員：木村 敏明、高橋 原、谷山 洋三、間芝 志保

コード：LM15204, **科目ナンバリング：**LGH-RES606J, **使用言語：**日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：宗教学死生学文献読解

2・授業の目的と概要：宗教学・死生学分野における専門的研究のためには、やりたい研究の先行研究にあたる文献・論文を見つけ、読み、整理して、そこに自分の研究を位置づける作業が不可欠である。この授業では、文献一覧の作成および文献内容紹介の発表を通して、研究者として必要な先行研究整理のスキルを身につけることを目的とする。

3. 学習の到達目標：先行研究の見つけ方、まとめ方がわかる
自分の研究を先行研究の中に位置づけることができる

4. 授業の内容・方法と進度予定：

1. イントロダクション
- 2~15. 文献リストおよび文献の内容に関する報告と議論

5. 成績評価方法：発表と議論への参加

6. 教科書および参考書：必要資料は授業中に配布する

7. 授業時間外学習：文献リストの作成および発表準備

8. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

9. その他：

科目名：宗教学死生学研究演習Ⅱ

曜日・講時：金曜 2 限

セメスター：2 **単位数：**2.00 単位

担当教員：木村 敏明、高橋 原、谷山 洋三、間芝 志保

コード：LM25204, **科目ナンバリング：**LGH-RES607J, **使用言語：**日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：宗教学死生学文献読解

2・授業の目的と概要：宗教学・死生学分野における専門的研究のためには、やりたい研究の先行研究にあたる文献・論文を見つけ、読み、整理して、そこに自分の研究を位置づける作業が不可欠である。この授業では、文献一覧の作成および文献内容紹介の発表を通して、研究者として必要な先行研究整理のスキルを身につけることを目的とする。

3. 学習の到達目標：先行研究の見つけ方、まとめ方がわかる
自分の研究を先行研究の中に位置づけることができる

4. 授業の内容・方法と進度予定：

1. イントロダクション
- 2~15. 文献リストおよび文献の内容に関する報告と議論

5. 成績評価方法：発表と議論への参加

6. 教科書および参考書：必要資料は授業中に配布する

7. 授業時間外学習：文献リストの作成および発表準備

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

9. その他：

科目名：宗教学研究実習 I

曜日・講時：月曜 4 限、月曜 5 限

セメスター：1 **単位数：**2.00 単位

担当教員：木村 敏明、谷山 洋三、問芝 志保、阿部 友紀

コード：LM11405, **科目ナンバリング：**LGH-RES608J, **使用言語：**日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：宗教学調査法

2・授業の目的と概要：他者の信仰を理解するためには、文字化された資料を扱うのみでは限界があり、フィールドワークに基づき、活きた信仰を解き明かすことが必須である。本授業では、宗教調査の方法とスキルについて講義を通して学習し、夏季におこなう共同調査に向けて調査計画の立案を行う。

3. 学習の到達目標：(1) 宗教調査の立案、準備、実施、資料整理、発表の技法を身につける。
(2) 調査を通じて「活きた宗教」に対する理解を深める。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

1. イントロダクション
2. 第一回：宗教学におけるデータとは
3. 第二回：参与観察法
4. 第三回：インタビュー調査法
5. 第四回：質問紙調査法
6. 第五回：文献調査法・情報検索法
7. 第六回：映像記録法① 写真撮影の基本
8. 第七回：映像記録法② ビデオ撮影の基本
9. 第八回：映像記録法③ 写真撮影実習
10. 第九回：調査と研究の倫理
11. 第十回：現地調査計画の立案
12. 第十一回：現地調査準備① 地域について知る
13. 第十二回：現地調査準備② 先行研究をまとめる
14. 第十三回：現地調査準備③ 質問項目を考える
15. 第十四回：まとめ、調査の最終チェック

5. 成績評価方法：授業/ 調査への取り組み、発表を総合的に評価する

6. 教科書および参考書：教科書は使用しない。参考書については、授業中に紹介する。

7. 授業時間外学習：授業中に指示された課題、準備。夏季に実施される現地調査への参加。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：宗教学研究実習Ⅱ

曜日・講時：月曜4限、月曜5限

セメスター：2 単位数：2.00 単位

担当教員：木村 敏明、谷山 洋三、問芝 志保、阿部 友紀

コード：LM21404, **科目ナンバリング：**LGH-RES609J, **使用言語：**日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：宗教学調査法

2・授業の目的と概要：他者の信仰を理解するためには、文字化された資料を扱うのみでは限界があり、フィールドワークに基づき、活きた信仰を解き明かすことが必要である。本授業では、夏季に行われた宗教調査をもとにしてそのまとめ作業をおこなう。

3. 学習の到達目標：(1) 宗教調査の立案、準備、実施、資料整理、発表の技法を身につける。
(2) 調査を通じて「活きた宗教」に対する理解を深める。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

1. イントロダクション 後期授業の概要
2. 第一回、前期調査のまとめ①フェイスシート整理作業
3. 第二回、前期調査のまとめ②聞き取りデータ整理作業 社会組織と生業
4. 第三回、前期調査のまとめ③聞き取りデータ整理作業 神社・寺院・その他の宗教施設
5. 第四回、前期調査のまとめ④聞き取りデータ整理作業 民間信仰
6. 第五回、前期調査成果発表準備①アウトライン作成
7. 第六回、前期調査成果発表準備②データの集約
8. 第七回、前期調査成果発表準備③スライド作成
9. 第八回、前期調査成果発表準備④発表予行演習
10. 第九回、前期調査成果発表
11. 第十回、現地調査報告書作成①社会組織と生業
12. 第十一回、現地調査報告書作成②神社・寺院・その他の宗教施設
13. 第十二回、現地調査報告書作成③民間信仰
14. 第十三回、現地調査報告書作成④校正など
15. 第十四回、総括と反省

5. 成績評価方法：授業/ 調査への取り組み、発表を総合的に評価する

6. 教科書および参考書：教科書は使用しない。参考書については、授業中に紹介する。

7. 授業時間外学習：授業中に指示された課題、準備。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：